

第 52 回 高輪築堤調査・保存等検討委員会（部会①）

開催記録

1 開催概要

- 日 時：令和7年2月5日（水）10：00 ～ 12：00
- 場 所：JR 東日本 現地会議室
- 出席者：

表 出席者一覧

委員長	・ 谷川 章雄氏（早稲田大学名誉教授）
委員	・ 老川 慶喜氏（立教大学名誉教授） ・ 小野田 滋氏（鉄道総合技術研究所 アドバイザー） ・ 古関 潤一氏（東京大学名誉教授・ライト工業株式会社 R&D センター テクニカルオフィサー）
オブザーバー	・ 文化庁文化財第二課 史跡部門 ・ 港区教育委員会事務局 教育推進部 図書文化財課 ・ 港区街づくり支援部 ・ 東京都 教育庁 地域教育支援部 管理課 ・ 東京都 建設局 道路建設部 鉄道関連事業課 ・ 東京都 交通局 建設工務部 計画改良課 ・ 独立行政法人都市再生機構 東日本都市再生本部 都心業務部 ・ 鉄道博物館 学芸部 ・ JR 東日本コンサルタンツ株式会社 ・ 東日本旅客鉄道株式会社 グループ経営戦略本部 品川・大規模プロジェクト推進部門 ・ 東日本旅客鉄道株式会社 マーケティング本部 ・ 東日本旅客鉄道株式会社 構造技術センター ・ 京浜急行電鉄株式会社 鉄道本部 ・ 京浜急行電鉄株式会社 生活事業創造本部
事務局 東日本旅客鉄道(株) 京浜急行電鉄(株)	・ 東日本旅客鉄道株式会社 グループ経営戦略本部 品川・大規模プロジェクト推進部門 ・ 東日本旅客鉄道株式会社 マーケティング本部 ・ 東日本旅客鉄道株式会社 建設工務部 ・ 京浜急行電鉄株式会社 鉄道本部 ・ 京浜急行電鉄株式会社 生活事業創造本部 他
サポート	・ パシフィックコンサルタンツ株式会社

■ 当日配付資料

1) 議事録確認

- ・ 次第
- ・ 資料1：第51回委員会（1/8）部会①議事録案
- ・ 資料2：第51回委員会（1/8）部会③議事録案

2) 部会①

- ・ 次第
- ・ 資料1：TAKANAWA GATEWAY CITY 第Ⅱ期エリア（5・6街区）における確認調査の結果について

2 議事要旨

2.1 議事録確認

(1) 開会

- 第 52 回 高輪築堤調査・保存等検討委員会を開会する。(事務局)

(2) 議事録確認

1) 第 51 回委員会 (1/8) 部会①の議事録確認

- 修正指摘なし。(委員一同)

2) 第 51 回委員会 (1/8) 部会③の議事録確認

- 修正指摘なし。(委員一同)

2.2 部会①

(1) 開会

- 第 52 回 高輪築堤調査・保存等検討委員会の部会①を開会する。(事務局 JR)

(2) TAKANAWA GATEWAY CITY 第Ⅱ期エリア (5・6 街区) における確認調査の結果について

- 資料 1 について説明する。(港区)

<説明概要>

- 5・6 街区の確認調査の所見を報告する。
 - 資料 1-1 に、今回調査と周囲における以前の調査の遺構確認位置を示す。オレンジ色の範囲が高輪築堤の範囲と推定される箇所である。
 - 資料 1-2 に、以前の調査を含めた調査地点一覧と確認された遺構の概要を示す。
 - 資料 1-3 から 1-6 で、トレンチ①～⑨の確認調査結果を示す。
 - 資料 1-8 に、4 街区で最も 5 街区に近い工区となるⅠ区の検出状況写真を示す。明るいローム主体の土が、トレンチ⑧・⑨で確認された堆積と類似する。
 - 資料 1-9 で、トレンチ⑦の発掘写真と 4 街区の信号機土台部の発掘写真を比較する。平面形状、側面石積状況、角材の様相や幅寸法がいずれも類似していた。
 - 今回の調査によって海側石垣と築堤盛土が推定通りに確認され、張り出し遺構も確認されたことが成果のまとめとなる。
- 資料 1-1 の中央付近に港 2 のトレンチがあり、その北側に試掘トレンチ②がある。この

部分の結果はまだ委員会で報告していないので破線としているが、この部分を含めて連立事業に係る全ての調査を1月で終了した。調査の実施について全ての関係者に御礼申し上げます。(東京都)

- 京急連立1工区の調査結果では山側は土坡である。(東京都)
 - ← 指摘の通り、資料1-2のタイトルが山側石垣という表現になっていて、誤解を生む可能性があるため、訂正する。(港区)
- 調査の準備からとりまとめまで、港区教育委員会を中心に進めていただき感謝する。(JR)
- 今後の議論のため資料1-1において、4街区のI区や物流の箇所の調査の結果を含めた図面にしてもらえるとありがたい。(JR)
 - ← 了解した。(港区)
- 5・6街区を含む一帯の、高輪築堤の遺構状況が把握できた。築堤が東方にカーブしている状況も明らかになった。海側に関しては、群杭の範囲も含めて概ね特定できたことが良かった。トレンチ⑦で、信号機土台部と思われる遺構が出てきたことは驚いた。全体的に見ると、4街区の信号機跡の状況と同じであろう。(委員長)
- 次回は、5・6街区の文化財的な価値や評価を議論することになる。これまでと同じく委員の見解という形で提示したい。(委員長)
- 資料1-2の築堤上面の列で△が記入されている。バラストではなく築堤上面の確認という理解だが、△だと上面が確認されていないと誤解される可能性がある。(事務局 JR)
 - ← 過去に作成された表に追記したため、記号を踏襲した。今後修正していきたい。(港区)

(3) その他

＜部会①・部会②・部会③終了後＞

- 最後に文化財行政からコメントをもらう。
 - ← 部会①の調査まとめに感謝する。部会②の記録保存への方針についてや調査結果の報告を承った。(文化庁)
 - ← 5・6街区の調査成果のまとめについて、港区教育委員会の作業に感謝する。次回以降の文化財的な価値・評価について引き続きお願いしたい。(東京都)
 - ← 見学会について、終了後にも取材を受けたりしている。適宜報告する。引き続き協力をお願いしたい。(港区)

(4) 閉会

3 議事録

3.1 議事録確認

(1) 開会

- (事務局 JR) 第 52 回 高輪築堤調査・保存等検討委員会を開会する。
- ・ 挨拶
 - ・ 資料確認
 - ・ オンラインの案内
 - ・ 次第説明

(2) 議事録確認

- (事務局 JR) 2つの議事録について修正等の指摘はあるか。修正等があれば委員会終了までに連絡をいただきたい。
- (事務局 JR) 意見がなければ、議事録確認を終了する。

3.2 部会①

(1) 開会

- (委員長) 次第に沿って進める。

(2) TAKANAWA GATEWAY CITY 第Ⅱ期エリア（5・6街区）における確認調査の結果について

- (港区) 資料 1 について説明する。資料 1-1 で今回調査と周囲における以前の調査の遺構確認位置を示した。オレンジ色の範囲が高輪築堤の範囲と推定される箇所である。資料 1-3 に、トレンチ①～③の確認調査結果を示す。トレンチ①と②からは開業期海側石垣とともに留め杭、胴木、群杭が確認されている。築堤の盛土上部に組まれた水路跡の石列も確認されているが、これは大正期以降と推定している。トレンチ③については、トレンチ①・②に比べるとトレンチの規模が小さく、それに伴い掘削深度も浅くなっているため胴木や群杭の検出には至っていない。資料 1-4 に、トレンチ④～⑥の確認調査結果を示す。掘削深度は浅いが、いずれも開業期の海側石垣の一部と裏込め石が確認された。資料 1-5 にトレンチ⑦・⑧の確認調査結果を示す。トレンチ⑦からは、開業期の海側石垣とともに 4 街区で発見された信号機土台部と類似した構造物が確認された。トレンチ⑧は、開業期の築堤の盛土と思われる

る土層が確認された。資料 1-6 にトレンチ⑨の確認調査結果を示す。トレンチ⑧と同様に築堤の盛土が確認され、その断面は東から西に傾斜する土層が確認された。資料 1-2、に以前の調査を含めた調査地点一覧と確認された遺構の概要を示す。資料 1-9 で、4 街区の信号機土台部の発掘写真とトレンチ⑦の張り出し遺構を比較する。平面形状、側面石積状況、角材の様相や幅寸法がいずれも類似している。張り出し遺構は海側石垣に張り付く形になっていて、張り出し遺構が検出された高さは T.P.+2.3m 程度で、4 街区の信号機土台部は T.P.+2.2m と概ね同様である。角材の幅も、信号機土台部と同様の約 21cm であった。今回の調査によって海側石垣と築堤の盛土が推定通りに確認され、張り出し遺構も確認されたことが成果のまとめとなる。

(委員長)

質問、意見はあるか。

(東京都)

資料 1-1 の中央付近に港 2 のトレンチがあり、その北側に試掘トレンチ②がある。この部分の結果はまだ委員会で報告していないので破線としているが、この部分を含めて連立事業に係る全ての調査を 1 月で終了した。調査の実施について全ての関係者に御礼申し上げる。京急連立 1 工区の調査結果では、山側は土坡であった。

(港区)

指摘の通り、資料 1-2 のタイトルが山側石垣という表現になっていて、誤解を生む可能性があるため、訂正する。

(JR)

調査の準備からとりまとめまで、港区教育委員会を中心に進めていただき感謝する。都の調査を含めて全体像が分かりやすくなり、勉強になる。今後の議論のため資料 1-1 において、4 街区のⅠ区や物流の箇所の調査の結果を含めた図面にしてもらえるとありがたい。もう少し広い範囲で状況を確認したい。

(委員長)

4 街区のⅠ区で 5・6 街区と様相が同じと思われる範囲と、5・6 街区から外れるが、物流荷捌きの部分は全体像の中に入れてもらうと良い。港区の方で作成してもらいたい。

(港区)

了解した。

(委員長)

5・6 街区を含む一帯の、高輪築堤の遺構状況が把握できた。築堤が東方にカーブしている状況も明らかになった。海側石垣に関しては、環状 4 号の調査で群杭を認識していたが、今回の調査で群杭の範囲も含めて概ね特定できたことが良かった。トレンチ⑦で、信号機土台部と思われる遺構が出てきたことは驚いた。全体的に見ると、4 街区の信号機跡の状況と同じであろう。1～4 街区は良好な遺存状態であると評価してきたが、それと同様の評価ができると思っている。次回は、5・6 街区の文化財的な価値や評価を議論することになる。これまでと同じく委員の見解という形で提示したい。

(事務局 JR)

資料 1-2 の築堤上面の列で△が記入されている。バラストではなく築堤上面の確認という理解だが、△だと上面が確認されていないと誤解される可能性がある。

- (港区) 過去に作成された表に追記したため、記号を踏襲した。今後修正していきたい。
- (委員長) 他に何かなければ、次に進める。

(3) その他

- (委員長) その他は何かあるか。

<部会①・部会②・部会③終了後>

- (委員長) 最後に文化財行政からコメントをもらう。
- (文化庁) 部会①の港区の調査のまとめに感謝する。部会②の記録保存への方針についてや調査結果の報告を承った。
- (東京都) 5・6街区の調査成果のまとめについて、港区の作業に感謝する。次回以降の文化財的な価値・評価について引き続きお願いしたい。
- (港区) 見学会について、終了後にも取材を受けたりしている。適宜報告する。引き続き協力をお願いしたい。

(4) 閉会

- (委員長) 特になければ部会①を閉会し、部会②に進める。

以 上